

# うまい夕へより確かな運転



交通事故といえば、とかく昼間に多いものと思いがちですが、必ずしもそうではありません。事実去年の例では、午後四時の薄暮からようやく朝が訪ずれる午前四時までの十二時間に、全事故のおよそ半数にあたる四十六％が発生しています。また、死亡事故の例でも午後四時から午前四時までの間に昼間よりもはるかに多い八十％の発生を見えています。さらに飲酒運転事故は実に九十％が、夕暮れから明けがたにかけて発生しています。

◎注意したいこと  
あたりが暗い夜間に、交通事故

の危険度が高いということは、当然であり、それだけに道路を通行する歩行者も自動車を運転する人も、日中以上の交通安全への心づかいが望まれるところです。  
そこで夜間に道路を通行する人は、次のことに注意して夜間の交通事故を防ぎましょう。

## 【運転者は】

- 一、夜間は視野が狭いため、自身が交通事故を起こす危険性が高いばかりでなく、路上には過労運転や酒酔い運転をする者がいたり、また酔って歩く人が多いため予期しない事故を起こすおそれもあります。ですから万一という場合を考えて昼間よりもスピードを落して、慎重に運転しましょう。少しでも危険と感じたときには、まずスピードを落すことが事故をふせぐことにつながります。
- 二、走行中には、自分の車と対向車のライトで道路の中央付近の歩行者が見えなくなることがあります。十分に注意しましょう。
- 三、視野はできるだけ先の方に向けることにより、前方の障害物を早く発見することができ、事故を未然に防げます。
- 四、幹線道路など道路の平坦な所で長い時間、単純な運転を続けますと眠くなります。眠けを防ぐためには窓をあけ、新鮮な空気をに入れて少しでも眠くなったら、安全な場所に車を止めて休息をとり(一)

## 税のふるは

### ◇税金は皆んなのために使われる 四、地方財政の援助のために

家庭の台所から出るゴミやし尿の処理、消防や警察など国民の生活に身近な仕事は県や市町村が受持っていますが、国はこれに財政援助をし、地方公共団体と協力して「住みよいまちづくり」に努めています。

これら地方に対する財政援助として、国から一般的な財源として配分されるものに地方交付税、交付金があります。ことしの支出額は、一般会計の二十％にあたる三兆四、一四四億円が使われています。

### 五、物価安定のために

物価の安定は国民にとって重大な関心事であると同時に、国にとっても物価問題は重要な課題です。物価対策関係費として、ことしは一般会計と特別会計を合わせて一兆五、八一八億円で生産性の向上をはかったり、生活に必要な物資の価格を安定させるために努力しています。

### 六、その他

このほか国土の防衛、中小企業の振興、貿易の促進、公害防止や環境保全のために税金が使われています。

### ◇サラリーマンと税金

一 技術習得などの費用

現代社会は、ビジネスマンに深い知識と高度な技術を要求します。そのために各社とも社員の研修には相当な時間と費用をかけています。そこで、社員が専門的な知識や技術を習得するための費用を会社が負担した場合、税法ではどのように取り扱われるでしょうか。

社員に知識や技術を習得させる方法にはいろいろあります。部外から講師を呼ぶ場合、外部の研修会や講習会、大学などに社員を派遣する場合もあります。また仕事上、単に知識や技術を身につけるだけでなく資格を要求されるものもあります。たとえば自動車の運転免許や熱管理士、ボイラー技士などがあります。このためには授業料や受験料、登録料、図書費、交通費などで相当の費用がかかります。

税法では、個人に帰属するような免許や資格を取得するための費用を会社が負担した場合であっても、次の条件にあってはまっていればその費用は会社の費用となり、資格をとった人には税金はかかりません。

- (1) その資格や免許をとることが会社の業務に直接関係があること。
- (2) その資格や免許をとるための費用として適正な範囲のものであること。
- (3) 支給された金銭で購入した図書とか物品が会社の所有となること